



FAS コネクタプラグ「D-KY」「F」組立手順書

◎安全に関するご注意

光ファイバ取扱い中に、折れた光ファイバの破片が誤って目に入る、あるいは体に刺さるなどしてケガをする危険性があります。安全のため、作業中は常に安全眼鏡を着用して、光ファイバ屑の取扱いには十分注意して下さい。

1. 製品構成

FAS コネクタプラグ「D-KY」「F」は以下の物品で構成されています。

	①キャップ ②コネクタ本体 ③クサビユニット ④レバー ⑤挿入ガイド ⑥外被把持部材
--	---

2. 治具

治具には統一型ホルダと 05-025 一括ストリッパがあり、本コネクタには統一型ホルダが添付されております。

05-025 一括ストリッパは、FAS コネクタプラグ「F」「F」の付属品をご使用ください。

統一型 ホルダ	「FAS・FA」の位置で使用する
05-025 一括 ストリッパ	

準備工具

	①ニッパ ②光ファイバカッタ（例 CT-50）
--	--

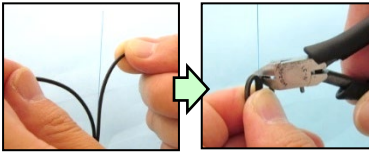
注意）推奨工具以外を使用する場合、ファイバの口出し処理が指定の寸法通り行えることを必ず確認してください。

3. 作業手順

①ケーブル処理

1-1 テンションメンバのカット、ケーブル

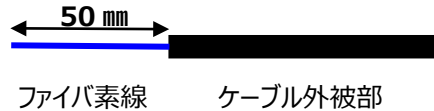
外被の除去



①ケーブルを縦裂きします。

②ニッパで外被を切断します。

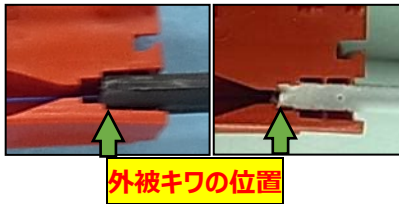
※外被把持部材に把持できなくなるため、なるべく外被キワに段ができないようにカットします。



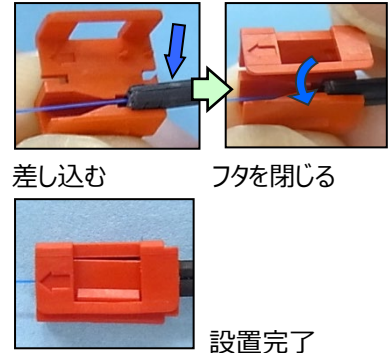
1-2 外被把持部材の設置

ポイント

ドロップケーブル 細径インドアケーブル

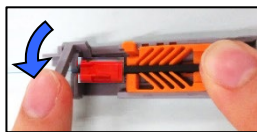


ドロップケーブルと細径インドアケーブルでは外被キワの位置が異なります。



②素線の処理

2-1 統一型ホルダへ設置、素線被覆除去



統一型ホルダにケーブルをセットし、蓋を閉じます。



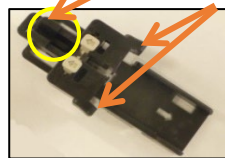
「FAS-FA」の位置で使用する

ポイント

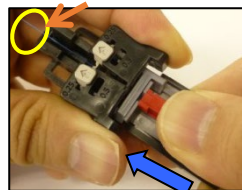


2-2 ストリップへセット

ガイド 握り箇所



ファイバ先端がストリップ先端より先に出ていることを確認します。

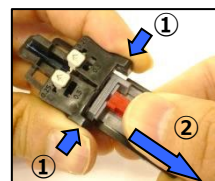


ファイバが真っ直ぐセットされていることを確認します。

統一型ホルダを押し込む

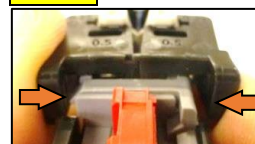
2-3 被覆除去

①しっかりと挟んで



②統一型ホルダを引きます。

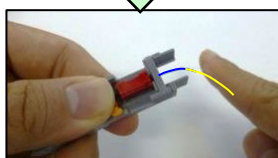
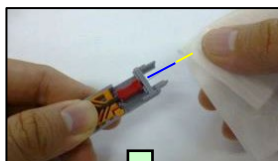
ポイント



注：ファイバ先端に被覆が残りますが、ファイバカット時に切り落とされます。

2-4 清掃・スクリーニング

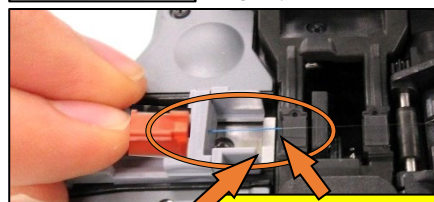
被覆を除去したファイバ表面をアルコール付きコットンで清掃します。ファイバを指でゆっくり上下左右3回ずつ曲げ（60°程度）折れないことを確認します。



2-5 ファイバカット



例 CT-50
統一型ホルダを
カッタにセット
します。



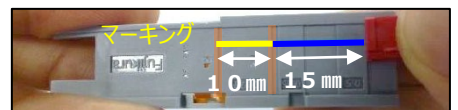
押し付けること

025 被覆キワがゴム板の左端にあること

※別途ファイバカッタの取扱説明書をご参照下さい。



①片手で刃を押えながらファイバをカットします。
②統一型ホルダから、ケーブルを外します。



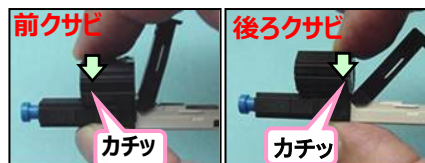
ファイバカット処理後、上記寸法となっていることを確認して下さい。刃裏面のマーキングを使って確認することができます。

注意）上図寸法から外れると、良好な組立が出来ません。

③コネクタの組立

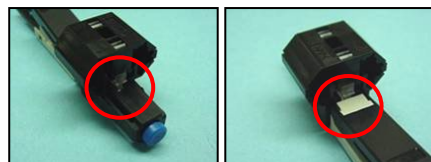
3-1 クサビ（前、後ろクサビ）確認

クサビが入っていることを確認します。



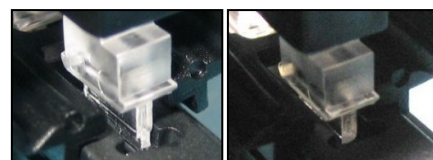
※クサビが抜けている時は、前、後ろの順にクサビを押込みます（クサビが入った際、カチッと音がします）。

クサビの入れ方(多少力が必要です)



前クサビ

後ろクサビ

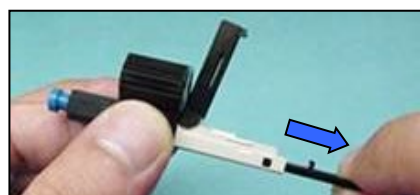


抜けている

入っている

クサビが入っていないとファイバ挿入できません。

3-2 ファイバ挿入



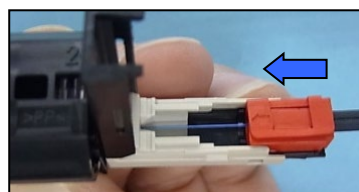
①挿入ガイドが引出されていることを確認する。



③ファイバの切断長を確認する。



②外被把持部材を挿入ガイドにセットする。



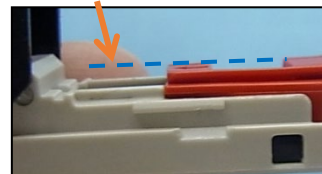
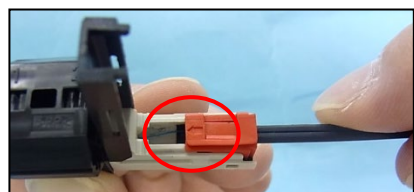
④挿入ガイドを平行に滑らせて挿入する。

※ファイバの先端に注意しながら、ゆっくり心線を挿入します。
(挿入口を見ながら)

3-3 ファイバたわみ確認

コネクタ、挿入ガイド、外被把持部材の隙間なし

たわみは外被把持部材の上面を越えないこと

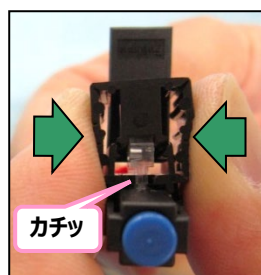


**『たわまない』『たわみすぎ』は組立失敗
⇒ 最初からやり直し**

3-4 クサビ解除（両手で作業する）

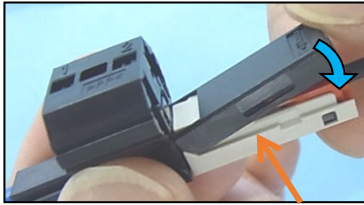


①ファイバをたわませた状態で



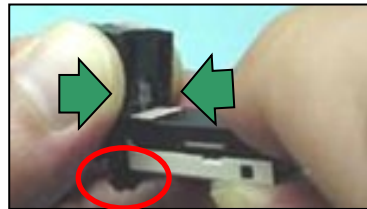
②クサビ側面を両側からつまんでクサビをぬく

3-5 ケーブル引留め、クサビ外し

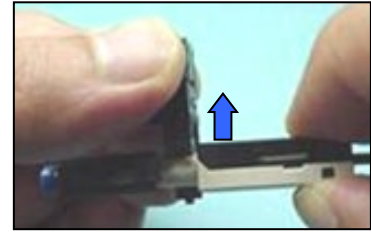


①レバーを閉める。カチッと音がするまで
**外被把持部材は、ファイバがたわんだま
 まで、引っ張らない**

※コネクタからファイバが抜けてしまうため



②下のラッチが外れるまでつまむ



③クサビユニットを外す

※一度『レバー』を『外被把持部材』にはめると外せません

3-6 完成

コネクタ接続する直前にキャップを外してくださ
 い。



コネクタ部を後ろに引張っても
 抜けないこと。

ラッチが上がりきっていない。

▶ [株式会社フジクラお問い合わせフォーム](#)